



相手のことを考えて!

～日常が危機に陥ったときにこそ、
社会の差別構造が現れる～

災害や感染症の拡大など人々が不安になった時、不確かな情報や間違っ
た情報がインターネット上で広まっています。また、情報自体に誤りがなくとも、
それを知ったことにより人権を軽視するような対応をした事例が数多く見受け
られます。

たくさんの情報をきちんと整理して、誤った情報を広めず、お互いの人権を
尊重しましょう。



風評被害・誹謗中傷など情報への間違った対応

仕事を終えた後、
タクシーの乗車を
拒否された

子どもが保育園の
登園自粛を
求められた

「〇〇病院でコロナ
患者が出た」という情報

子どもが学校で
いじめにあった

医療関係者への
誹謗中傷・差別

原発事故によって
放出された
放射性物質の影響

農産物・水産物
などの価格低迷、
販売不振

学校で「菌」よばわり
された

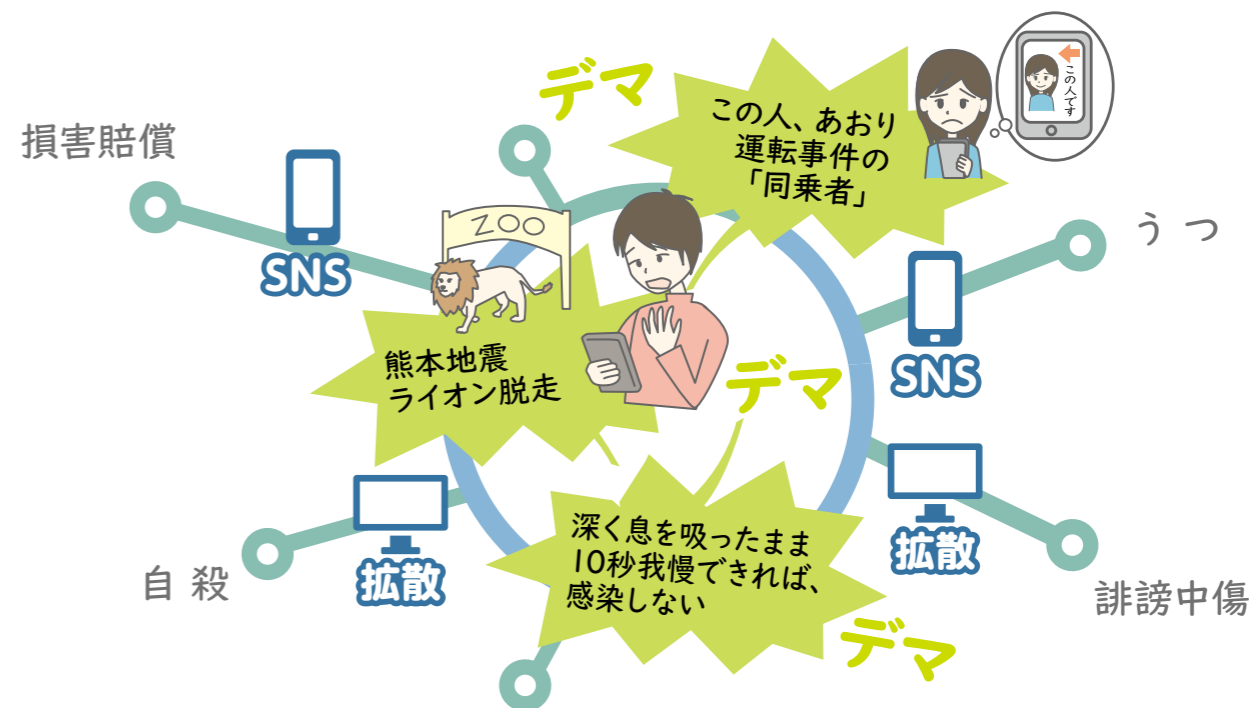


新型コロナウイルス感染症などの不安に打ち勝ち、本来の
人間らしさや優しさ、思いやりを取り戻しましょう!!



デマ情報 (フェイクニュース)

フェイクニュースとは、虚偽の情報でつくられた偽ニュースのことです。
多くはインターネット上で発信、拡散されます。



※情報を安易に信じ、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)などで
拡散することにより、無関係な人が誹謗中傷を受けるなど、重大な人権侵害を
引き起こすこととなります。本当かどうかわからない情報は、うのみに
せず、真偽を確認し、拡散ないようにしましょう。

チェックリスト

インターネットを使うとき、確認してみましょう。

- 匿名だから何を書き込んでもいいと思いませんか?
- うそやうわさを書き込んでいませんか?
- 悪口や差別的な書き込みをしていませんか?
- 場合によっては罪に問われることがあると知っていますか?
- 発信元が不明な情報やインターネット上の情報を安易に信じていませんか?
- その情報はいつ頃書かれたものですか?
- 書き込むことが情報の拡散になることを認識していますか?